

物流画像素材集に関する研究

学籍番号 2000755番 和田 剛太

指導教官：黒川 久幸

1. はじめに

現在、インターネットが普及したことによりホームページやプレゼンテーションスライドを飾るデジタル的なイラスト集である画像素材集の需要は増加しつつある。しかし、23兆円もの市場規模を持つ物流業界に対する画像素材集はわずか2社のみが製作、販売しているだけであり、十分とはいえない(図1、図2)。画像素材の使用は企業イメージ宣伝促進、プレゼンテーションの理解向上などに繋がることを考えれば、この事態は物流業界にとってはマイナスである。そこで本研究では市販されている物流画像素材集における問題点を思索し、どのような物流画像素材集が求められているのか実際に自身で素材集を製作し、検討することを目的とする。

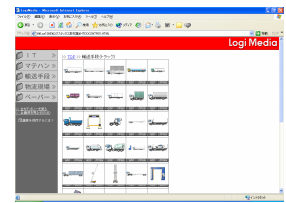


図1 「ロジツ具」

図2 「Logi Media」

2. 物流画像素材集

実際に販売されている物流画像素材集の問題点としては、一般の画像素材より高価であり、組み合わせる際において画像に描かれている対象の縮尺が統一されていない、画像の対象に対する視点が少ない、画像を選択する画面において画像が小さすぎるので違いが分かりにくいということなどが挙げられる。

以上の問題点をふまえて描画ソフト「ペイント」を用いて画像を作成、HTML文によってホームページ方式で画像検索をできるようにして物流画像素材集を製作した(図3)。用意した画像は137枚、JISハンドブックを元に画像の種類を分類し、画像はパーツ同士で利用者が自由に組み合わせられるように縮尺を統一し工夫した。画像対象に対する視点として「正面・側面・鳥瞰」の3種類を用意。更に画像形式としてJPEG形式とGIF形式、2種類の圧縮画像を用意し、情報量・画質を利用者が選択できるようにした。また画像に描かれている対象に関する解説文を加え画像の提供のみにとどまらず物流を学ぶための資料としての機能を付加した(図4)。

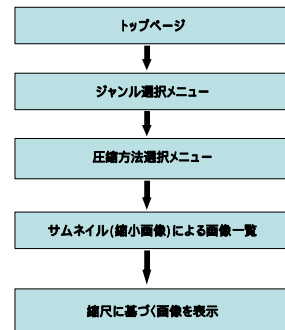


図3 画像検索の手順

3. 評価結果

製作した物流画像素材集を学内の先生方及び4年生に実際に使用してもらいアンケートを実施した結果、用意した画像の種類が少なく、画像の組み合わせ方がややこしくわかりにくいという指摘があった。その一方で、ホームページ形式の検索画面や画像対象の解説文がついていることに対して評価された(図5)。



図4 物流画像素材集

4. まとめ

アンケートから物流画像素材集が求められていることが判明した。更に製作する際において以下の項目に注意すべきであると判断した。データ量、画像の自由度から画像をパーツに分けて表示する。画像の分類として船舶などJISでは補えない分野がある為、それらを補える新たな分類が必要。レイアウトの表現などの為、鳥瞰の視点による画像の用意が望まれる。画像の圧縮において汎用性が高く一般的なJPEGとGIFの使用が望ましい。組み合わせせしめにおける手順の簡易化の為、画像の対象に対する縮尺を150分の1及び1500分の1に統一。画像検索のインターフェースとしてホームページ形式は短時間で製作が可能であり修正し易くWEB上に掲載できる為最適である。画像一覧においては一目見て区別がつくように画像を全て200x160ドットで統一した。素材集の使い方の解説は文章を少なく、より簡素なものにする必要がある。画像の対象に対する説明の付加は有効である。

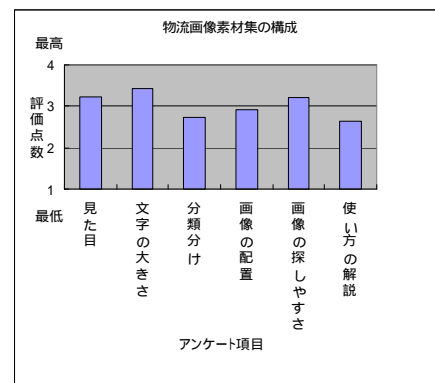


図5 アンケート結果

キーワード：物流画像素材 組み合わせ 画像圧縮 HTML文